

令和 2 年第 1 回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和 2 年 1 月 30 日（木曜日） 午後 1 時 34 分から 2 時 50 分まで
会議開催の場所	市役所 503 会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事、表彰案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・井上三枝・新堀陽子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 吉野靖彦・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 荻野毅・学校教育課長 野村弘人・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 駒井実
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	1 人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第 1 から 3 号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第 1 号 日高市立小・中学校における働き方改革基本方針について
原案どおり可決
- 議案第 2 号 日高市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について
原案どおり可決
- 議案第 3 号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長報告の要旨
 - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
 - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告：資料 1 関連】

（委員）学力向上に関わる研修会において、県教育局の関口市町村支援部長が講演をされたようであるが、今回の研修対象者は。

（教育長）校長を対象とした研修である。

(委員) 講演の内容について、ポイントとなった事項を教えてください。

(教育長) 主旨としては、子どもたちに学習への興味を持たせることの大切さや主体的に取り組ませることなどについて、例えば、関口部長ご自身の経験上のお話において、英語の先生であるが、英語の文字がどのように出来たかなどのお話から子どもたちに興味を持ってもらうといった内容のお話をいただいた。また、学びについて、先生方が学び合いなどで見識を深めていただくために校長がリーダーシップをとって進めてもらい指導要領を作ってもらうことが大事であるというお話をいただいた。従来から日高市で取り組んでいる内容から大きく異なる話は特になかった。

(委員) いつも学校を見て回るときに感じるのが、校長のリーダーシップの部分である。リーダーシップを感じる校長もいれば、全く感じられない校長も存在している。教職員の学び合う組織づくりの必要性とあるが、事故防止など多岐にわたりリンクするものである。そのような実情は教育委員会でも把握されているはずであり、すでに4月から1年近く過ぎている中で、未だに状況が変わっていないところも見られる。そこをどうしていくのか考えていかないと教職員や子どもたちに影響がある。

(教育長) 校長が異動などで変わると学校も変わると良く言われる部分である。こちらで把握している部分については、実際に学校に行ってバックアップをしており、生徒指導的な問題など改善してきているところもある。

(委員) 全国学力学習状況調査について、システムの見直しを自民党が検討しているようであるが、情報は入っているか。

(教育長) 現状では特に詳細な情報は入っていない。

(委員) 協調学習授業公開について、協調学習の手法（知識構成型ジグソー法）を用いた授業とは、どのような手法と内容か。

(学校教育課副参事) 日高高校の社会の先生が、ご自身で研究してきたことを中学校で実際に授業をしていただいたものであるが、1つのテーマを3つの資料に分割して、それぞれの資料についてグループに分かれて話し合い掘り下げていき、そのあと、グループを組み1つのテーマを話し合い、理解を深めていくという手法をとっていた。この時は、豊臣秀吉の施策をテーマとして、刀狩りや検地などの3つの観点をそれぞれグループで話し合い掘り下げてから、グループで最終的に秀吉が何のためにこのようなことを取り組んだのか理解を深めていくという内容であった。

(委員) 実際、中学2年生でそのテーマについて、深くディスカッション出来たのか。テーマの選定に課題はなかったのか。

(教育部参事) かなり活発な意見が出ていた。また、子どもによっては興味があるテーマであり深く学んでいた子もいて、活発に参加できていたと思う。

(教育長) 資料については、かなり事前に整理されたものが用意されており、子どもたちだけで事前に調べて取り組むとなると、ここまで活発に出来たのかなという思いはあるが、今回は、授業時間内での取り組みであり時間も少なかったことから、

このような方法となった。ディスカッションや自分を表現するということが子どもたちには重要な経験となると考える。

(委員) 競技用紙雷管の適切な取り扱いとあるが、保管はどのようにしているのか。
(学校教育課長) 主に運動会で使用するのので、終了後は子どもたちの手に触れないような場所に保管している。

(委員) 残数確認だけでなく、保管方法が重要であるので取扱いに気を付けてほしい。

(委員) 学力向上について、子どもたちにとって1年のまとめの時期であり、積み残しの内容にとあるが、教育課程の管理という点で、現時点での状況はどうか。

(学校教育課副参事) 調査もあり、時数などの報告もあるので適正に管理している。

(委員) インフルエンザなどで学級閉鎖などがある場合の補充はどうなっているか。

(学校教育課長) 新型インフルエンザが流行した時はあったが、現在は特に行っていない。今のところ中学校は流行しておらず、小学校で若干流行しているかなという程度である。授業時数については、それほど余裕のある進行具合ではないが、イベントや行事を縮小するなどにより、授業の遅れのないよう取り組んでいるところである。授業時数は工夫しながら確保していきたい。

(委員) ビブリオバトルについて、会場に展示された武蔵台中書店が評判だったとあるが、生徒が自主的に応募してきたのか。

(教育長) ビブリオバトルへの申し込みではないが、学校で取り組んでいるものを図書館に持ってきてもらった。ビブリオバトルについて、中学生にも参加してもらいたいので、校長や生徒に見学に来てもらうなど出来ればよいと考える。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第1号について

(委員) 働き方改革ということで、研修の削減はどうか。

(学校教育課長) 県の年次研修を少しずつ減らしていくことと、市の研修でも重複する研修については、併せて減らしていく。

(委員) 県の年次研修の後にレポートの提出をするとあるが、どこに提出するものか。

(学校教育課長) 県に提出するものと市に提出するものがある。研修後の報告というよりは、事前提出課題についてのレポートである。

(委員) 研修後のレポートについて、個人の感性により受け取り方が異なるものがあり、一律に共有できるものではないので、レポートを提出させる効果が薄いのではないか。このような部分を徹底的に削減してあげないと、本来、重点的にやるべき業務への時間を取れないので、働き方改革につながっていかない。

(教育長) どの項目を削減すれば劇的に改善されるというものではないので、会議の縮小や研修の削減など各学校の事例、実情に合わせて取り組んでいくしかない

と考える。

議案第2号について（非公開）
非公開のため記載せず

議案第3号について（非公開）
非公開のため記載せず

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

- 2月定例会：2月18日（火曜日）午後1時40分から 委員了承
- 3月定例会：3月18日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

(2) その他連絡事項

- 令和元年度中学校卒業式
3月13日（金曜日）午前
- 令和元年度小学校卒業式
3月24日（火曜日）午前